

01 教会ニュース

賛美で一つになったメシアニック・ジューイ・ジェロク牧師のイスラエル宣教の実であるクリスタルフォーラム主催で第4回賛美フェスティバルがガリラヤ湖畔で開かれた。

02 いのちのみことば

【霊の愛シリーズ】愛は人のした悪を思わず  
霊の愛を心に耕すためには、相手がうまくいかないように願うこと、さばいて罪に定めること、神のみこころに反するすべての思いを捨てなければならない。

03 企画特集

私はどれくらい良い心だろうか？  
良い心を持つことは神様の祝福を受ける近道だ。三つの質問を通して、どれだけ心が善に変えられたのかチェックしてみよう。  
支教会7月スケジュール

04 証し

僧侶と呪術師に  
御手を差し伸べてくださった神様  
僧侶だった父が死を前にして主を受け入れて救われたという  
コ・ヨスク執事と、神の力を体験した呪術師だったネパールの  
ゴクルブジェル聖徒の証し。

# 万民ニュース

第128号 2013. 6. 23.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042  
www.manmin.org

## 「イエシュア、主の御名をあがめます」 イスラエルのクリスタル賛美フェスティバル開かれる



イエス様がお生れになったイスラエルのガリラヤ湖畔に響きわたった感動的な賛美は1,700人余が集まった中、放送電波に乗って全世界に伝えられた(左上がハン・ジュギョン賛美宣教師、右上がグローリーワーシップチーム)。

今年5月17日、主の息吹が感じられるイスラエルのガリラヤ湖畔の野外舞台上、クリスタルフォーラム(イスラエル牧会者協議会)主催の賛美フェスティバルが開かれた。

この行事にはイスラエルをはじめアメリカ、ロシア、ベラルーシ、ドイツ、スイスなどから1,700人余りが参加、TBNロシア放送を通して全世界に生中継された。野外の公共の場所で大胆に主イエスの御名をほめたたえた今回の行事は、クリスタルフォーラムがどれほど力を得て成長したのかをよく表している。

イスラエルは国民のほとんどがユダヤ教を信じていて、キリスト教を信じる人はごく少数にすぎない。憲法で宗教の自由を認めているが、ユダヤ教は唯一神ヤハウェだけを崇めてイエス・キリストを認めないので、イエスをメシヤと信じる「メシアニック・ジュー」と呼ばれる人々は社会的に萎縮し、牧会者は迫害と財政的な困難に苦しみながら働いている。

堂会長イ・ジェロク牧師は2007年から

2009年までの3年間で12回、イスラエル全域を巡回して、神の力あるわざとともに福音を伝えた。これを通してイスラエルに向けられた神の摂理を悟った現地の牧会者たちは「クリスタルフォーラム」を結成し、イスラエルを目標にしている。

2009年9月には「イスラエル連合大聖会」を開催し、220か国以上に中継される中で講師イ・ジェロク牧師は「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」を大胆に宣伝した。

これ以後、クリスタルフォーラムは夫婦セミナー、青少年キャンプ、賛美フェスティバルなど活発な働きをしている。特にイ・ジェロク牧師の祈りで神の力が込められたハンカチを当てると(使徒19:11-12)、悔い改めといやしのみわざが現れ、教会がリバイバルしている。また、TBNロシア、CNL、ホーリーゴッド テレビ、ロードノイなどのテレビ放送とインターネットでイ・ジェロク牧師の説教を毎日聞いて信仰が成長している。



今回の賛美フェスティバルには、イスラエルのアシュドット、ハイファ、エルサレム、ナザレ、テルアビブなどの賛美リーダーとアフリカ賛美チーム、ウクライナのオクサミタやロシアのゲラシム、バレリー・コロフなど有名ゴスペル歌手とベラルーシの賛美チーム「新しいエルサレム」のリーダー、アレクサンダー・パトリスの公演で喜びを加えた。

本教会からはハン・ジュギョン賛美宣教師とグローリーワーシップチームが招かれて、オープニングとフィナーレを担当した。

この公演を見た人々は「公演チームの中で最高でした。ヘブライ語とロシア語の発音が正確でした」「美しい衣装と小道具を見て天国を思い浮かべました」と惜しみない賛辞を送った。この行事は番組として製作されて、今後TBNロシアとCNL、インパクトテレビなどで放映される。

主催者側は「ガリラヤ湖にたくさんの人が集まって主イエスを賛美したことに感激しました。これはイ・ジェロク先生のイスラエル宣教の実です」と述べた。

# 愛は人のした悪を思わず



堂会長イ・ジェロク牧師

「礼儀に反することをせず、  
自分の利益を求めず、怒らず、  
人のした悪を思わず、」  
(第一コリント13:5)

をしていると、その友だちが自慢しているようで、ねたんでそねみます。この時、「あの子はいい暮らしをしているのに、私は何なの？ あの子が困ったらいいのに」という思いがよぎったなら、それは確かに悪い思いなのです。

心に霊の愛があれば、決してそう思いません。愛する人が病気になったり、事故にあってほしいと思う人はいないでしょう。自分の妻は、夫は、子どもは、いつも健康でうまくいってほしいと願うのです。ところが、たとえ自分に悪を行った人であっても、その人がうまくいかなければいいと思ひ、相手の不幸を喜ぶということは、それだけ自分の中に愛がないという証拠です。だから、相手の過ちや弱点を暴いて、伝えようとするのです。

相手が間違っただ道に行くのを防いで、善の道へと導くために、何かの事実を知っておくべき場合もあります。そうでなければ、人の話に耳をそばだてて知りたがるのは、自分の中に悪口とひそひそ話を好む、真理に逆らう心があるからだと認めなければなりません。

〈箴言17:9〉に「そむきの罪をおおう者は、愛を追い求める者。同じことをくり返して言う者は、親しい友を離れさせる。」とあります。心が良くて愛のある人は他人のそむきの罪をおおってあげようとして、暴こうとしません。また、自分に悪を行った人でも、ほめられて認められれば、ねたんでそねむのではなく、一緒に喜んで幸せに思ひます。

**2)相手をさばいて罪に定める心を捨てなければなりません**

ある人がクリスチャンとして行ってはいけない所に入るのを見たしましょう。この時、心に悪があれば、「どうしてあんな所に入出入りできるのか」と悪い思いがよぎります。良い心があるなら、「なぜあんな所に行ったのだろうか。何か事情があるんだろう」と良いほうにすぐ思いを変えます。

心に悪がなくて霊の愛がある人は否定的な思いそのものをしません。仮に自分に悪を行った人について良くない話を伝え聞いても、事実かどうかを確認する時まで、うかつにさばかないのです。

〈ヤコブ4:12〉に「律法を定め、さばきを行う方は、ただひとりであり、その方は救うことも滅ぼすこともできます。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか」とあります。神様だけが正確なさばきを行われるのであって、私たち人が他人

をさばくことは悪です。

霊の愛があれば、仮に相手が自分に悪を行ったとしても、下手に正しい正しくないをはっきりさせません。その人をおおいそうに思って、何としてでも助ける道をまず考えます。そむきの罪をおおって赦すだけでなく、相手が悔い改められるように助けてあげます。自分に悪を行った人もこのように愛するのには、そうでない人に対する時はどうでしょうか。ひよとして人を簡単にさばいて罪に定めているならば、それだけ霊の愛がないことを悟らなければなりません。

**3)神様のみこころに反するすべての思いを捨てなければなりません**

人は一般に、道徳的で良心的な人を善良だと言います。しかし、道徳や良心は善の絶対的な基準になれません。神様のみこころと反対になるものも多いからです。絶対的な善は神様のみことばだけです。これから外れたことはすべて悪であり、罪です。

私たちが主を受け入れれば、自分が罪人であることを告白します。いくら善良に生きていると自負していた人も、みことばに照らしてみれば、偽りで悪いことが多いので、「私は罪人でした」と悔い改めて罪を言い表すのです。

それでは、罪と悪の違いは何でしょうか？ 木にたとえれば、「悪」は見えない地の中の根のようなものです。「罪」は目に見える幹と葉、実だと言えます。根があるので木の幹や葉、実が出てくるように、罪は悪から出てくる産物です。

悪は、地の中に深々と下ろしている根のように、心の中にある「属性」であり、この悪が具体的なかたちとして現れるものが、まさに罪です。それで、〈ルカ6:45〉に「良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。」とあるのです。

たとえば、ある人が汚い言葉を吐いて、暴力を行使したとしましょう。これは、心にある「憎しみ」という悪が「汚い言葉」や「暴力」という行い、すなわち、罪として出てきたものです。しかし、心に悪があるからといって、必ずしも罪を犯すわけではありません。教養があつたり、みことばを聞いて自制すれば、罪としては出てこないのです。しかし、それでは、心の中に悪があるのできよいとは言えません。その罪の性質まですべて捨

ててこそきよいと認められて、霊の愛を実践できるのです。

神様は愛です。神様の戒めも圧縮すれば「愛」です。したがって、私たちが心に留めるべきことは、人を明らかに憎んで嫌うことだけが悪であり、罪なのではなく、結局愛さないことも悪で罪だということです。したがって、悪はどんな悪でも避けて、さらに愛することに努めなければなりません。

**2.霊の愛を心に耕すためには**

何より真理に逆らうものを見たり聞いたりしてはいけません。もし真理に逆らうものを見て聞いたならば、思い出したり覚えておかないために努力しなくてはなりません。ところが、思わないようにすれば、もっと浮かぶのが問題です。こうであるほど、さらに火のように祈りながら、聖霊に助けをいただかなければなりません。また、わざわざ悪いものを見て聞いて思い浮かべることはあってはならないし、一瞬よぎる悪い思いも捨てるべきです。悪い行いをともにすることも決してあってはなりません。

人は、持って生まれた罪の性質と、成長しながら見て聞いた真理に逆らうものを土台に、自分というものが形成されます。それで、罪の性質と真理に逆らうものを捨てるには、多くの忍耐と努力が必要です。真理よりも真理に逆らうもののほうが慣れているし、真理に逆らうものを受け入れるのはやさしいけれど、捨てるのは相対的に難しいのです。しかし、私たちが誰かを熱く愛すれば、自然にその人が好きなことは好きになり、嫌いなことは嫌いになるように、神様をこの上なく愛すれば、神様が喜ばれるように戒めを守って、悪はどんな悪でも避けられるのです。

次に、霊の愛を心に耕すためには、何より「みことば」を糧として、火のような「祈り」をしなければなりません。昼も夜もみことばを口ずさんで、悪い思いを退けて良い思いをして、火のように祈っていくと、そこまでは悟れなかった自分の思いと言葉と行いの中にある悪を発見して、捨てることができるのです。

愛する聖徒の皆さん、霊の愛は人のした悪を思わないと言いました。みことばと火のような祈りですみやかに悪はどんな悪でも避け、すべてを良いほうに思って真理を行う御霊の人になりますように、主の御名によって祝福して祈ります。

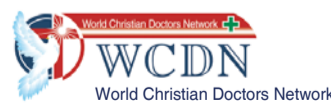


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.gcntv.org  
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ピン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
www.manminnews.com  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クロ3ドン235-3  
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

# 私はどれくらい良い心だろうか？

暗いところが少しもなく、光そのものであられる神は、ご自分の子どもたちも完全な光の中にとどまるように望んでおられる。闇がないことが霊的な権威であり、神の愛と祝福を受ける近道だからだ。下の三つの質問を通して、自分がどれほど良い心に変えられて、光の中にとどまっているのかチェックしてみられるように。

Q

与えることに  
慣れているか？  
受けることに  
慣れているか？

〈使徒20:35〉に「……また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」とある。ここで「受ける」と「与える」とは、物質だけでなく、時間や努力などが必要なすべての真理の行いを含んでいる。

たとえば、ある人は教会から施しを受けたとき、その恵みに報いるために熱心に信仰生活をするだけでなく、自分も施しをしながら、変わることなく感謝の告白と行いを見せる。一方、ある人は施しを受けたことに感謝の気持ちを表すが、いざ自分とはという行わないことが見られる。施しが良い行いだということを知って、他の人はその善を行ってもらいたいと思いつつながら、自分が行わないのだ。また、ある人はその恵みに感謝して忠実に奉仕していても、すぐ心が変わったりする。ひょっとして人とぶつかようなことが起これば、恵みに報いようとしていた心までなくなってしまうのだ。

一方、ある人は、集まりがあるとき、誰が見ていようといまいと、先に来てうまく進められるように準備して、熱心に世話をする。先に行けなくてもっと仕えられなかった時には、むしろ申し訳なく思

い、今後そんなことがないように心に留めて実践する。反対に、ある人は習慣のように遅れる。遅刻はしなくても、他の人たちが全部準備しておいて、みんなが集まった後にやって来る。これは、他の人たちが先に来て、準備して仕えてくれるのを受けだけという習慣があるからだ。

この他にも、ある人は施しやプレゼントすることを楽しんで、あえてしなくてもよいことまでして、周りの人たちに仕える。しかし、相手からありがとうの言葉がなかったり、認めてくれないなど、期待したことが得られなければ、「あの人は礼儀を知らない人だ。高ぶっている」と気を悪くして、あれは何だったのかとむなしくなる。この場合、代価を望む心があるので、神は善だとお認めになれない。

神が認められる良い心、御霊に属する心は、相手が願うことを与えて、心を楽にしてあげるのだ。神は、私たちが一度で終わるのではなく、最も良いものを与えてはまた与えることを願っておられる。このように私たちも「一度仕えてあげたから、やることは全部やった」というのではなく、受けるよりも与えるほうを楽しむ心になるべきだろう。

Q

相手の心を  
理解して  
その立場に  
なっているか？

多くの人が、祈る時は仕えと犠牲など良い行いをしたいと求めるが、いざ現実に相手の行動が自分の利益に合わなければ、その人を理解したり受け入れないことが見られる。

たとえば、一緒に奉仕をしていた働き人が早く帰るとき、心の良い人ならば、それだけの理由があるだろうと理解するので、全く気を悪くしない。ただ、さらに熱心に奉仕して、順調にそれを進めていこうとするだろう。

一方、ある人は「私も忙しいのに……あらかじめ約束してあったことなのに、どうしても今帰らなければならないのか」と思ったり、それどころか「ずるい」と思ってさばいて罪に定めたりする。あるいは「今度私が奉仕することがあるとき、あの人が抜けただけの時間はお願いしなければ」と計算ずくで考えたりする。この場合、奉仕するとしても、神の御前に善の香として立ち上りにくい。「善」のメッセージを心に耕さないで、知

識としてだけ入れておいたからだ。

善の基準を自分に適用しないで、相手に適用しながら、自分は善だ、正しいと錯覚することもある。相手とは違って自分は忙しいのに、時間を割いて奉仕しているから、善を行っていると思うのだ。もしこんな人が、自分が先に帰らなければならない状況でひとこと言われたとしたら、どうだろうか？「そうでもなくても申し訳ないのに、どうしてあんないやな顔を見せるのか。都合がつく限り何とかして出てきて、一生懸命やっただから、ありがたいと言うべきではないか」と気を悪くすることもあり、相変わらず自分が正しいとだけ思うこともある。

このように自分の立場と利益だけ考えれば、霊的な善を行えない。心の良い人はすべてにおいて相手の立場で考えるので、自分がもっと楽で良いほうを選ばないで、相手を安らかにしてあげる道、神の国に栄光を帰す道を探すのだ。

Q

秩序に従って  
どれだけ  
よく仕えて  
いるか？

ある人は目上の人に対するとき、心から仕えないで、秩序にそって従うこともない。その一方で、目下の人自分が仕えてくれないければ、秩序を乱しているひどく気に障る。自分の中に高ぶりがあるので、自分に仕えてくれない目下の人が入らないのだ。

たとえば、あることを推進しながら、自分を飛び越えて目上の人に報告すると「なんで私には報告をちゃんとしないのか」と思ったり、自分抜きで事が進められるとき、「なんで私がしていたことを、意見も聞かずに一方的に処理するのか」とおもしろくない。ところが、こういう人は、いざ自分とはという秩序に従わないことが見られる。目上の人があることを指示したとき、自分の心に合わなければ、いろいろと思いを巡らして気を悪くし、不平を言うのだ。

もちろん、組織には秩序があって、務めに応じて与えられたこと

があるので、各自すべきことをしなければならない。だが状況によって、理解して受け入れなければならない時があって、秩序がちゃんと守られるように柔軟な心で正さなければならない時がある。目下の人秩序を乱しているとき、目上の人何が何でも理解して受け入れることが霊的な善ではないのだ。

それでは、すべてのことを真理で見分けて、神が喜ばれるほうを選ぶには、どうすべきだろうか？ 相手を抑えつけてかしらになろうとする心、仕えられて認められようとする心、自尊心などがあってはならない。そんな時こそ、秩序が乱されないように正すべき状況なのか、目下の人に欠けているところがあっても、理解して受け入れるべきなのか、見分けられるのだ。また、目上の人祈って示されたことだから従うべきなのか、目下の人意見を取りまとめ目上の人に提案すべきなのかも、賢く見分けられるのだ。

## 7月支教会スケジュール

7月13日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会 (講師:加藤勲牧師)	7月28日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会 (講師:崔ヒョンラン牧師)
7月27日(土)	名古屋万民教会	癒しの集会 (講師:時國みや子牧師)	7月31日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会 (講師:伊藤正明牧師)
7月27日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会 (講師:金マルコ牧師)	7月31日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会 (講師:柳スズキ牧師)

# 死の直前で霊の目が開かれて 「おれ、天国行くからうれしいよ」と告白した父

コ・ヨスク執事(1カナン宣教会)

小学校2年生の時から教会に通い始めた私は、父に隠れて信仰生活をしなければなりません。高校生の時に万民中央教会に導かれた後、初めて大胆に福音を伝えられる力が湧いてきました。

でも、父は受け入れませんでした。教会に行ったことがわかった日には、服をはさみで切ってしまうたり、授業以外は外出を禁じました。それどころか、あざができるほど叩かれたりもしました。

仏教の信者だと思っていた父が僧侶ですって？

大学卒業後、両親の仲が悪くなっていくとき、ショックなことを知るようになりました。仏教の信者だとばかり思っていた父が、結婚前は住職だったし、還俗した後は占いをしながら布教をしていたのです。

私は父から離れたくて留学を決心し、イギリスにある学校から合格証書までもらいました。けれど、教会と牧者のそばを離れたくなくて、結局留学をあきらめました。間もなく両親の離婚で、父はテグにある寺へ行きました。信仰生活が自由になり、宣教会長、火曜賛美礼拝の伴奏者などの使命をいただいて献身できました。2011年からは水曜礼拝の伴奏と教会職員になる祝福を受けました。

今年1月末、突然父から連絡が来ました。胆道がん3期で、これ以上医学ではどうしようもない状態だと言いました。そのまま亡くなったら決して救われないので、私はもどかしく思うばかりでした。

それで、父のために三日断食と定められた祈りをして、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを受けました。私は父の代わりに偶像にひどく仕えたことを悔い改めて、かわいそうな父を救ってくださいと求めました。また、父を本当に愛することができなかったことを、たましいを砕いて罪を告白しました。3月2日、イ・ジェロク先生の自叙伝『私の人生、私の信仰』と一緒に、私の心を伝える手紙を渡しました。

「大好きなお父さん、小さい時から私たちのために苦勞しているお父さんにいつも感謝して、力になりたくて一生懸命勉強しました。高校生の時にいのちの教会に出会って、とても幸せでした。人生のまことの価値を知るようにしていただき、良い心を持って生きるように堂会長先生が教えてくださいました。

からです。お父さんに数えきれないほど叩かれて痛かった時も、堂会長先生は『お父さんは神様を知らなくてそうしてるんだから、お父さんをもっと愛しなさい』と言われました。それで、お父さんを嫌わないで、もっとわかってあげようとして愛することができました。お父さんがこの本を読んで、必ず主イエス様を受け入れて天国に行ったらうれしいです……。」

「おれ、天国行くからうれしいよ！大きい借りができた」

数日後、父は電話をしてきて「すまない！すまない！お前と弟たち、それから母さんにとって、おれはものすごい罪人なんだな。イ・ジェロク先生の自叙伝を読んだら、心に届くことがすごくたくさんあったよ。先生は本当に立派な方だ」と言いながら泣くのでした。

私は神様が働かれたようだと思い、急いで父にソウルの病院へ移ってもらいました。続いて担当の主のしもべに来ていただきました。父は主のしもべが神様のみことばを伝えられると、「アーメン！」と言いながら恵みを受けました。

3月31日、教会に登録した父は、数日後に堂会長先生にお目にかかって祈りを受けました。4月14日、父が過去、先生をさばいて罪に定めたことを、夢の中で先生に悔い改めたのでした。そして次の日、誰がさせたのではないのに、父は十分の一献金相当の金額をささげてほしいと頼みました。私はすぐに準備して、神様にささげました。

当時、父は末期がんの患者がいる病棟にいました。ところが、病室の中に冥土の使者たちがうようよしているからと、入りたがらないのです。まさに霊の目が開かれて、霊の世界を見たのです。

4月21日、極度に悪化した父は「おれ、天国行くからうれしいよ！堂会長先生にお目にかかりたい。とてつもない大きい借りができた」と言って、眠るように天に召されました。死の直前で、神様の大きい恵みのうちに、父は堂会長先生の愛のとりなしの祈りで天国に行くことができました。すべての感謝と栄光を三位一体の神様にお帰しします。



## 「よく聞こえなかった耳が今は聞こえます」



ゴクルブジェル聖徒  
(ネパール万民宣教センター)

私はつい最近までネパールの中部地域ラメチャップ郡オカボ村の呪術師だったし、ヒンズー教を信じていました。しかし、今年3月、驚くべき神様の力を体験した後、主を受け入れました。

今年1月、私は息子の家族に会いに首都カトマンズに来ました。来てみると、息子たちはネパール万民宣教センターで信仰生活をしていました。

先にこちらに来ていた妻も伝道されて、主に会った初めの愛で満されていました。妻は神様がともにおられる教会、驚くべき神の力あるわざが現れる教会だと自慢しながら、毎日私を教会へ連れて行きました。担任イ・ヘチョン宣教師も、神様についてとても親切に教えてくださいました。

私は目の見えない人の目が開き、聞こえない人が聞こえるよ

うに、車椅子から立ち上がって歩いて走るなど、神様の力あるわざが現れた資料を見て、信仰を持つようになりました。また、家族と聖徒さんたちの暖かい愛に心の戸を開きました。

特に使徒信条と主の祈りを繰り返し暗記して、イ・ジェロク先生の説教「いのちの種」を聞きながら感動しているうちに、驚くべき奇跡を体験しました。聴力が良くなって、低い声やちょっと離れた所で話している声がよく聞こえなかったのですが、いつの間にかよく聞こえているのです。

73歳という高齢の呪術師だった私が神様の子どもとされたので、私は本当に大きい祝福を受けた者です。創造主の神様だけがまことの神であり、イエス様だけが私たちの救い主であることを告白します。ハレルヤ！

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

●イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>

●名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874

●イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771

●イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

●イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15  
T) 072-220-5289  
<http://www.osmanmin.com/>

●イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652

●イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>

●イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003

●イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138  
T) 0773-75-5656  
<http://www.manmin.jp/>

●岡山万民教会

〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26  
T) 0867-72-7276

●イエス・キリスト銚田万民教会

〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6  
T) 0291-39-9177

●イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740

●イエス・キリスト京都万民教会

〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22  
T) 0774-27-2779

●イエス・キリスト沼津万民教会

〒410-0802 静岡県沼津市上土町第一ビル2F  
T) 055-952-6861

●イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号  
T) 098-988-9472